

平成 30 年 3 月 15 日  
総 務 部  
地 球 環 境 ・ 海 洋 部

地方ごとの「農業に役立つ気象情報の利用の手引き」の公開について  
～気象情報を効果的に利用するためのヒントが見つかります～

本日（3月15日）、農業気象災害の防止・軽減や農業の生産性の向上に気象情報を役立てていただくためのポイントをまとめた地方ごとの「農業に役立つ気象情報の利用の手引き」を公開しました。

気象庁では、気象に起因する農業災害を防止・軽減し、農業の生産性の向上を図るため、様々な気象情報を発表しています。

これらの気象情報を、各都道府県の農政担当部局の方や農業普及指導員の方が実施されている農業技術指導などに一層役立てていただくとともに、農業団体や農業従事者の方などにもご利用いただけるよう、全国 11 地方（北海道、東北、関東甲信、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州北部（山口県含む）、九州南部・奄美、沖縄）それぞれに対応した「農業に役立つ気象情報の利用の手引き－農業気象災害を防止・軽減するために－」を作成し、平成 30 年 3 月 15 日に公開しました。

地方ごとの気象特性等に応じたこれらの手引きには、「気象情報の入手方法」、「どのような情報がいつ発表されるか」、「農業気象災害が発生しやすい気象条件」、「農業気象災害の発生が予想されるときに気象台と都道府県が作成する情報の流れ」などを掲載しています（内容例は別紙のとおり）。

これらの手引きは気象庁ホームページの「農業気象ポータルサイト」でご覧いただけるほか、地方ごとの手引きは札幌、仙台、東京、新潟、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、鹿児島、沖縄の各気象台のホームページでも公開していますので、ぜひご活用ください。

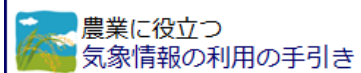
気象庁では、これらの手引きを全国各地で実施している農業普及指導員の方を対象とした気象情報利用セミナーのテキストとして使用するとともに、今後も利用者の皆様との対話を通じて、よりニーズに即した改訂を行ってまいります。

○農業気象ポータルサイト

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/nougyou/nougyou.html>

○農業に役立つ気象情報の利用の手引き

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/nougyou/tebiki.html>



問合せ先：地球環境・海洋部 気候情報課 担当 柴田、竹川  
電話 03-3212-8341（内線 3155） FAX 03-3211-8406

内容例 「農業に役立つ気象情報の利用の手引き（関東甲信地方版）」より一部抜粋

## 4 高温

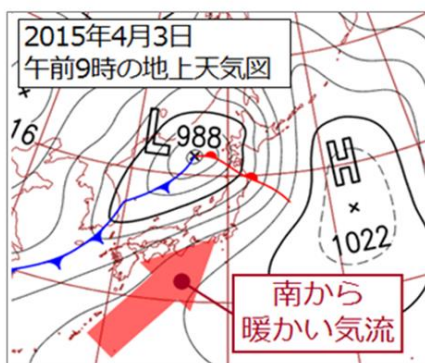
### 4.1 高温が発生しやすい気象条件

#### (1) 春と秋の高温

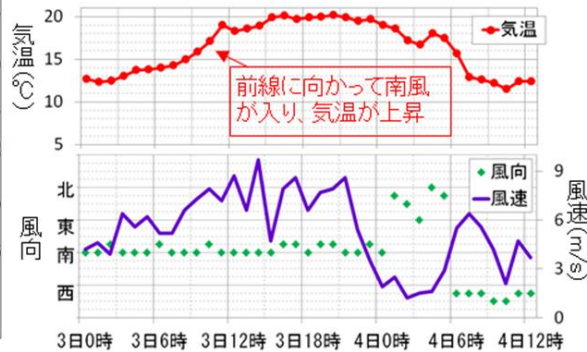


晴天のほか、曇天でも高温となることも

- 高気圧に覆われて、晴れて日差しを受けることで高温
  - ▶ 上空から空気が下降することでも気温が高くなる
- 日本の南に高気圧が張り出したり、日本海を低気圧や前線が通過したりするときに高温（第4.1図）
  - ▶ 暖かく湿った空気の影響で曇りや雨となっても気温は高くなることもある



2015年4月3日～4日にかけての東京での観測値



第4.1図 左：平成27年4月3日午前9時の地上天気図、右：同月3日～4日に東京で観測した気温と風向・風速の特別値

### 4.2 高温に関する気象情報

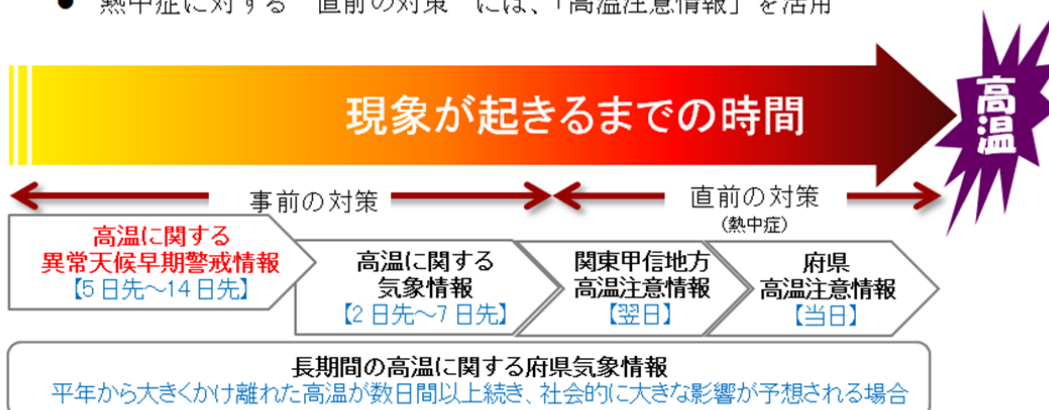
#### (1) 高温に関する気象情報の発表形態と目的

気象庁では、高温に関して、数日前から2週間先を対象とした気象情報を発表し、農作物等の管理等への注意を呼びかけています。また、熱中症対策のために、当日及び翌日を対象とした情報を発表して注意喚起をしています。



事前と直前の対策のための情報

- “事前の対策”には、「高温に関する異常天候早期警戒情報」や「高温に関する気象情報」を活用
- 熱中症に対する“直前の対策”には、「高温注意情報」を活用



第4.6図 高温に関する気象情報の発表形態と活用の概念図